

トルファンの伝統的民家

はじめ：

トルファンは、東部天山脈の南麓のトルファン盆地に位置する。面積は69000km²余り、人口54万人で、ウイグル族、漢族、回族等民族が居住している。古いシルクロードの要であり、ウイグル文化の重大な中心地の1つでもある。トルファン盆地の最も低いところは、海拔-154mで、中東の死海-392mについて世界第2位である。典型的な大陸性乾燥気候で、日照が長く、気温が高く、温度差が大きく、降水量が少なく、風が多く強い。そのため、「火州」と「風庫」と呼ばれている。熱、風、砂を防ぐための防熱林、防風林、防砂林として、長い歴史をかけて木々を育て、防護林としてきたオアシスである。



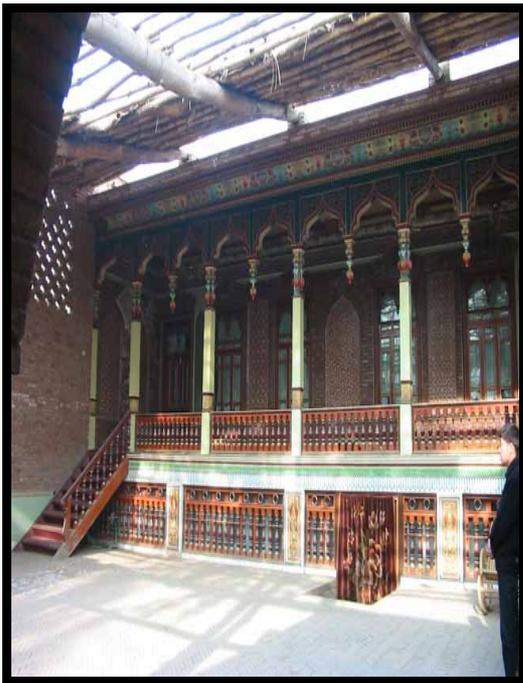
新疆ウイグル自治区地図

伝統的民家：

青い天山 赤い火焰山 黄色い砂漠、この3大自然環境の色彩はトルファンの建築、構築物、服装などの色彩に対して大きく影響していることである。建造物の主体や塼は土色で、地面舗装は多くは赤い煉瓦を敷き、木造ドア、窓や柱などは、緑、藍色、赤色を基調にしたパターンで装飾されている。建築の風格と空間の色彩は豊富で調和があり、その対比性は特徴となっており、中国建筑の色彩の技術で重要な位置を占めている。

トルファンの伝統的住宅は概に2種類に分けられる

1. 日干し煉瓦アーチ住宅
2. 土木住宅



伝統的民家



439 吐魯番葡萄園内街景



街路風景